

鹿部の空で感じよう



ハイポップな音楽に合わせて舞う
スポーツカイト



滑らかな滑空で大空との一体感を
楽しむモーターグライダー



クレーンで吊して飛ぶことができるハンググライダー



見て、触れて、乗って。マイクロライトプレーンの操縦席でパイロット気分



鹿部中学校の吹奏楽演奏。鹿部飛行場の格納庫はとても広くて音がよく響きます。出番を待つ飛行機たちも元気になりました



* スカイスポーツには、熱気球、模型飛行機など多くの種類がありますが、フェア当日のイベントの一部を紹介しました。



「今回のフェアを通して、鹿部飛行場を広く知っていただきたいです。9月からこの飛行場でパイロットの養成事業を始めます。新幹線の開通によって、鹿部町の利便性が更によくなることを期待しています」（鹿部飛行場を管理運営する朝日航空㈱代表取締役社長大屋政則さん）

道南の風

8月30日、道南で初めてのスカイスポーツフェアが鹿部町（鹿部飛行場）で開催されました。スカイスポーツフェアは、昭和63年に札幌市の真駒内競技場で開催されたのがスタート。これ以降毎年開催され、今年は28回目。見て、触れて、体験できる空のお祭りです。来年3月の北海道新幹線開通が近づき期待が高まるなか、スカイスポーツ活動が盛んになり、地域活性化の一助になることを期待しています。



地上3,000メートルからスカイダイビング。道南の空から会場の鹿部飛行場と鹿部町の景色を満喫



3人でスポーツカイトを操縦する場合は、リーダーが声をかけてテンポや演技内容を決めていく



手を振ってパイロットに「ありがとう」。函館市、七飯町、そして地元鹿部町などから約4,000人が来場。大阪から道南に観光で来て、たまたま知りましたというご夫婦も。地元の方からは「こういうイベントは楽しくていいねえ、またやってほしい」との声が聞かれました